

たにがしらっこだより

22号 R3.1.6

発行者 牛谷まゆみ

明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお祈りします。

昨年の年明け新型コロナウイルス感染症のニュースが流れてきて早くも1年が過ぎてしまいました。令和2年の1月の終わりに東京で研修があり、心配しながら行きました。その頃はマスクをしている人は少なく、その後このような事態になるとは思ってもみなかったことを思い出します。年末から都城市でも感染者が多くなってきて、『身近になってきているなあ』と心配しています。収束するまでにはもうしばらくかかりそうですが、以前のような生活に戻るよう感染予防に努めましょう。

◎挑戦する

子どもたち主体の保育に変わって子どもたちはどう変化したのでしょうか。1番に挙げられることは、「やってみよう」「やりたい」「できるようになりたい」という意欲が、多くの子どもたちに見られるようになったことです。それは決して「やりなさい」と強制されたわけでもなく、子ども自身が自分で考え選択して挑戦しています。年末から竹馬がブームになり、多くの子どもたちが挑戦しています。中には足の指の間にまめを作ってそこから血がにじんでいる子どももいました。「ほら」と見せてくれるのですが、なぜか誇らしげです。「頑張った証拠だね」と声をかけるとまた竹馬に乗り園庭へ。もちろんこの寒さの中でも裸足で練習です。なぜそこまでして行うのでしょうか？おそらくこの子はほめてもらおうと思っているのではなく、自分自身ができるようになりたいと心からおもっているのだと思います。この気持ちはとても大切です。

では私たち大人はどうかかわればよいのでしょうか？やはり1番は、温かく見守るということでしょうか。おおげさに褒めるのではなく、優しいまなざしで見守ることだと思います。

◎おねがい

- ・園児の保護者や家族の方がコロナウイルスに感染した場合や、濃厚接触者となった場合、PCR検査を受けた場合などは必ず園にもお知らせください。
- ・引き続き朝の検温をお願いします。37.5℃以上ある場合は、家庭での保育をお願いします。また、園で37.5℃以上出た場合はご連絡します。
- ・体調が悪い場合は必ず職員に伝えてください。（微熱、咳、鼻水など）

◎お知らせ

1月8日に予定していた3園交流の初詣はコロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。お弁当の日は予定通り1月8日です。